

長崎県競技力向上戦略ビジョン5カ年推進計画

例示

競技団体名

●●競技連盟

戦略の3本柱	主要施策	実施項目	評価指標	2025 【基準値】	2026	2027	2028	2029	2030 【目標値】	備考 (該当する補助事業)
1人 が 育 つ	少子化を踏めた次世代アスリートの発掘・育成	■競技体験型事業 キッズフェスティバルの開催	①開催回数 ②小学生の連盟登録者数	①0回 ②256名	①3回 ②260名	①3回 ②265名	①3回 ②265名	①3回 ②265名	①3回 ②265名	長崎ミライアスリート強化事業
		■ジュニア教室の開催 ジュニア教室の定期開催によりジュニア層のレベルアップおよび指導力向上を目指す	①開催回数 ②参加チーム数	①3回 ②30	①3回 ②30	①6回 ②30	①6回 ②30	①6回 ②30	①6回 ②30	長崎ミライアスリート強化事業 各地区1回ずつ実施を2回に増加させる
	ジュニア選手(中学・高校生世代)の強化・充実	■国スポ少年種別の重点強化 ①【少男】新人戦・春季選手権・高校総体の翌週に選考会を実施(指導者講習を兼ねる) ②【少女】選抜チームの重点強化	①年間開催回数 ②県外遠征回数	①3回 ②30泊	①3回 ②30泊	①3回 ②30泊	①3回 ②30泊	①3回 ②30泊	①3回 ②30泊	ジュニアスポーツ推進事業 国スポ強化事業
		■優秀ジュニア選手の重点強化 中学選抜チームの重点強化	①選考会兼指導者講習会の実施 ②大会までの実施セット数	①3回 ②300	①3回 ②300	①3回 ②300	①3回 ②300	①3回 ②300	①3回 ②300	長崎ミライアスリート強化事業 オリンピックアスリート等特別強化事業
	社会人アスリートの確保とサポート体制の充実	■社会人アスリートの確保 ふるさと選手の積極起用を促進	①ふるさと選手獲得のためリストアップ(優秀選手のみ) ②母体チームへの交渉成功率 ③事前練習回数	①100% ②60% ③2日	①100% ②70% ③4日	①100% ②80% ③4日	①100% ②80% ③6日	①100% ②80% ③6日	①100% ②80% ③6日	ふるさと選手招へい事業
		■県内大学・企業の強化を推進する ①【成女】強化指定チームの重点強化 ②【成男】強豪大学を国スポ中心チームとして強化	①九州大学リーグ順位 (○○大学) ②九州大学リーグ順位 (■■大学)	①3位 ②3位	①2位以内 ②3位以内	①2位以内 ②3位以内	①優勝 ②2位以内	①優勝 ②2位以内	①優勝 ②2位以内	企業・大学チーム強化助成事業 都道府県対抗駅伝強化事業
		■スポジョブながさき(県スポ協事業) スポジョブながさきを積極活用し、大学生選手および社会人選手の就職先を確保する	①本県出身の大学生選手・社会人選手への情報発信回数	①1回	①2回以上	①2回以上	①2回以上	①2回以上	①2回以上	未来ながさきスポーツプロジェクト
	優秀な指導者の確保・育成	■優秀な指導者の確保・育成 指導者の資質向上	①公認コーチ3資格取得者数 (現役世代)	①15人	①16人	①17人	①18人	①19人	①20人	指導者育成県外派遣事業 指導者講習は小・中・高、各カテゴリーにおいて選手選考会を兼ねて実施

長崎県競技力向上戦略ビジョン5カ年推進計画

例示

競技団体名

●●競技連盟

戦略の3本柱	主要施策	実施項目	評価指標	2025 【基準値】	2026	2027	2028	2029	2030 【目標値】	備考 (該当する補助事業)
2 人がつながる	具体的な取組み	■推進計画の策定 5カ年推進計画を含めた強化計画の遂行 ①各カテゴリー別の強化会議 ②競技力委員会での検討	①実施回数（合計） ②検討回数（年間）	①9回 ②3回	①9回 ②3回	①9回 ②3回	①9回 ②3回	①9回 ②3回	①9回 ②3回	
		■競技団体提案型事業 ①強化事業の推進 ②協賛イベントの実施	①国スポ天皇杯競技別順位 ②協賛数	①20位 (20位中) ②0	①10位 (20位中) ②3	①10位 (20位中) ②5	①8位 (20位中) ②7	①8位 (20位中) ②9	①5位 (20位中) ②10	
	広報戦略	■競技団体の広報活動を支援 Instagramを開設し、情報発信に努める ①フォロワー獲得 ②広報担当の設置	①フォロワー数 ②発信数	①0名 ②0	①50名 ②12	①100名 ②24	①150名 ②24	①200名 ②24	①250名 ②24	
		■財源確保 選抜チーム等の夏場の強化練習の空調使用料捻出	①協力企業数 ②目標額	①0 ②0	①6 ②30万	①7 ②35万	①8 ②40万	①9 ②45万	①10 ②50万	1口5万円×企業数で試算
3 人が満たされる	スポーツ医・科学の活用	■スポーツ医・科学研修会の充実 ●●連盟スポーツ医科学部会のさらなる充実化を図る	①スポーツ医科学部会の会議回数 ②会員数	①2回 ②10名	①3回 ②12名	①3回 ②13名	①3回 ②14名	①3回 ②15名	①3回 ②16名	インテリジェントアスリート育成事業
		■選手・指導者等へのサポート体制の充実 女性アスリートの活躍	①女性アスリート研修会参加者数	①0名	①60名	①70名	①80名	①90名	①100名	トレーナー派遣事業
	競技スポーツ環境の整備	■競技用具の整備 各チーム主導のもと、器具類の安全点検に努める	-	-	-	-	-	-	-	競技用具整備事業
		■競技スポーツ環境の充実 体罰のない世界を作り出すため、大会に体罰防止横断幕を「必ず」設置する	①設置率	①100%	①100%	①100%	①100%	①100%	①100%	

長崎県競技力向上戦略ビジョン5カ年推進計画【2026年】

競技団体名 ●●競技連盟

例示

戦略の3本柱	主要施策	実施項目	評価指標	2026 数値目標	具体的な取組内容
1・人が育つ	少子化を踏めた次世代アスリートの発掘・育成	■競技体験型事業 キッズフェスティバルの開催	①開催回数 ②小学生の連盟登録者数	①3回 ②260名	①県南・県央・県北地区で各1回ずつ実施。(小学生部が主管) ②人口減少の状況下、増加は見込めずとも、減少しないことを目指す
		■ジュニア教室の開催 ジュニア教室の定期開催によりジュニア層のレベルアップおよび指導力向上を目指す	①開催回数 ②参加チーム数	①3回 ②30	①県南・県央・県北地区で各1回ずつ実施。(小学生部が主管) ②各地区10チーム以上の参加を目指す
	ジュニア選手(中学・高校生世代)の強化・充実	■国スポ少年種別の重点強化 ①【少男】新人戦・春季選手権・高校総体の翌週に選考会を実施(指導者講習を兼ねる) ②【少女】選抜チームの重点強化	①年間開催回数 ②県外遠征回数	①3回 ②30泊	①場所は大村市もしくは諫早市内高校体育館で実施。1回目は監督推薦(監督帯同必須)、2回目以降は協会推薦で実施 ②県外強豪チームを訪問して強化を図る
		■優秀ジュニア選手の重点強化 中学選抜チームの重点強化	①選考会兼指導者講習会の実施 ②大会までの実施セット数	①3回 ②300	①場所は大村市もしくは諫早市内高校体育館で実施。1回目は監督推薦(監督帯同必須)、2回目以降は協会推薦で実施 ②男女とも、県外チームや地元強豪高校との練習試合を通して競技力向上を図る
		■社会人アスリートの確保 ふるさと選手の積極起用を促進	①ふるさと選手獲得のためリストアップ(優秀選手のみ) ②母体チームへの交渉成功率 ③事前練習回数	①100% ②70% ③4日	①優秀選手の卒業後の活動状況のフォローを行う ②必要に応じて、競技力向上対策本部との連携を図りながら、ふるさと選手獲得を目指す ③土日を利用した強化練習を九州ブロック前に2回以上実施
	社会人アスリートの確保とサポート体制の充実	■県内大学・企業の強化を推進する ①【成女】強化指定チームの重点強化 ②【成男】強豪大学を国スポ中心チームとして強化	①九州大学リーグ順位(○○大学) ②九州大学リーグ順位(■■大学)	①2位以内 ②3位以内	(①②共通)関西地方への遠征などを行い、競技力向上を図る
		■スポーツながさき(県スポ協事業) スポーツながさきを積極活用し、大学生選手および社会人選手の就職先を確保する	①本県出身の大学生選手・社会人選手への情報発信回数	①2回以上	①大学2年次における登録を呼びかけ、3年次からマッチング開始を呼びかける
	優秀な指導者の確保・育成	■優秀な指導者の確保・育成 指導者の資質向上	①公認コーチ3資格取得者数(現役世代)	①16人	①国スポコーチとして適用されるコーチ3の資格取得者を年1人のペースで増員していく
2・人がつながる	具体的な取組み	■推進計画の策定 5カ年推進計画を含めた強化計画の遂行 ①各カテゴリー別の強化会議 ②競技力委員会での検討	①実施回数(合計) ②検討回数(年間)	①9回 ②3回	①中学カテゴリー・少年男女・成年男女でそれぞれ3回実施 ②競技力委員会において、各カテゴリーの強化進捗を確認、必要に応じて改善していく。
		■競技団体提案型事業 ①強化事業の推進 ②協賛イベントの実施	①国スポ天皇杯競技別順位 ②協賛数	①10位(20位中) ②3	①まずは国スポ出場を目指すための取組みを実施することが重要 ②協賛イベントについてはキッズフェスティバル開催費用負担金とする。(各地区1社以上で達成)
	広報戦略	■競技団体の広報活動を支援 Instagramを開設し、情報発信に努める ①フォロワー獲得 ②広報担当の設置	①フォロワー数 ②発信数	①50名 ②12	①連盟役員の平均年齢が高いので、若手を指名し、広報戦略をたてる。 ②まずは大会結果報告からポストしていく
	新たな財源確保	■財源確保 選抜チーム等の夏場の強化練習の空調使用料捻出	①協力企業数 ②目標額	①6 ②30万	①夏場の熱中症対策として、1時間2万円と試算し、15時間分の費用の捻出を目指す
3・人が満たされる	スポーツ医・科学の活用	■スポーツ医・科学研修会の充実 ●●連盟スポーツ医科学部会のさらなる充実化を図る	①スポーツ医科学部会の会議回数 ②会員数	①3回 ②12名	①当連盟スポーツ医科学部会からの提言を含め、日ごろのコンディショニングについて更なる連携を図る ②構成メンバー：スポーツ内科医・スポーツ整形外科医・薬剤師・公認アスレティックトレーナーなど
		■選手・指導者等へのサポート体制の充実 女性アスリートの活躍	①女性アスリート研修会参加者数	①60名	①女性アスリートの競技力向上に特化したサポートを展開していく
	競技スポーツ環境の整備	■競技用具の整備 各チーム主導のもと、器具類の安全点検に努める	-	-	-
		■競技スポーツ環境の充実 体罰のない世界を作り出すため、大会に体罰防止横断幕を「必ず」設置する	①設置率	①100%	①体罰の根絶は必須である